

# 建設協議会協議事項

〔 日時 令和3年3月17日(水) 〕  
〔 午前10時 〕  
〔 場所 第四委員会室 〕

## ○ 所管事項の報告について

- 1 新大橋下部整備工事（その1）請負の一部変更契約の締結について
- 2 新大橋撤去工事（その6）請負の一部変更契約の締結について
- 3 新大橋整備工事（その3）請負の一部変更契約の締結について
- 4 新大橋整備工事（その4）請負の一部変更契約の締結について
- 5 新大橋整備工事（その5）請負の一部変更契約の締結について
- 6 新大橋整備工事（その6）請負の一部変更契約の締結について
- 7 新大橋整備工事（その2）請負の一部変更契約の締結をすることの専決処分について
- 8 新大橋河原木跨線橋整備工事請負の一部変更契約の締結をすることの専決処分について
- 9 市街化調整区域における八戸市開発審査会提案基準の改正について

## 新大橋下部整備工事（その1）請負の 一部変更契約の締結について

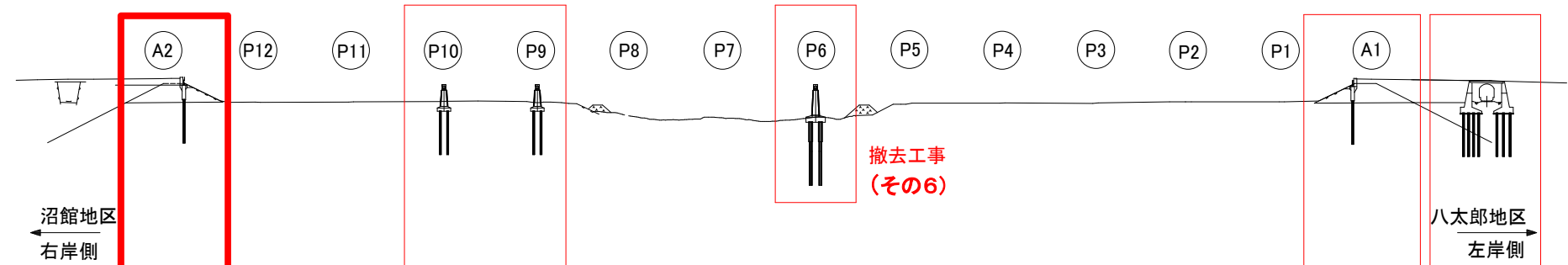
1. 工 事 名 新大橋下部整備工事（その1）
2. 契 約 者 穂積建設工業株式会社
3. 契 約 額
- |     |                |           |
|-----|----------------|-----------|
| 変更前 | ¥349,691,100 円 |           |
| 変更後 | ¥456,742,000 円 |           |
| 増減額 | ¥107,050,900 円 | (30.6%増額) |

### 4. 主な変更理由

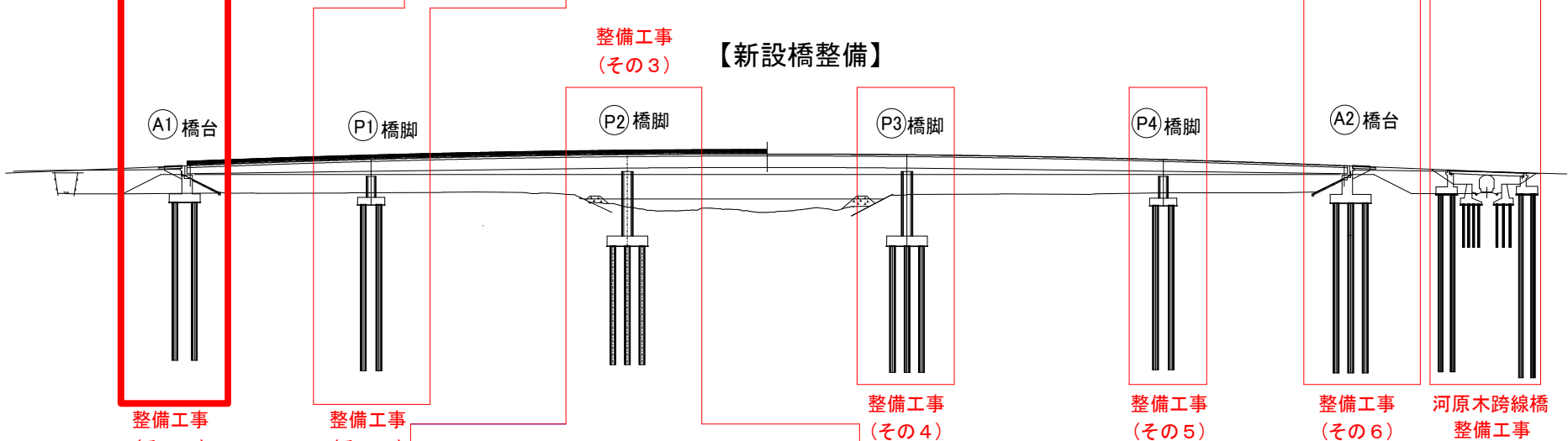
- ①新設A1橋台の設置にあたり、仮締切堤と既設護岸との接続箇所において、河川の増水などに対する浸食防止策を強化するため、石を詰めた補強袋を設置したことによる増額
- ②新設A1橋台の設置にあたり、工事車両の安全な通行及び資機材の置き場を確保するため、盛土や大型土のうを設置して堤防の通路を拡幅したことによる増額

# 新大橋架替工事箇所 側面図

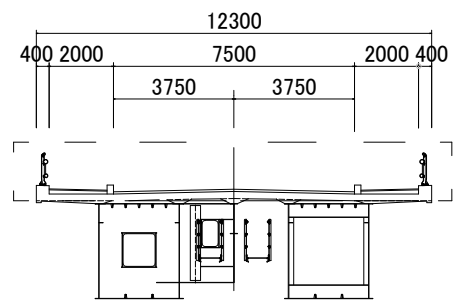
【既設橋撤去】



【新設橋整備】



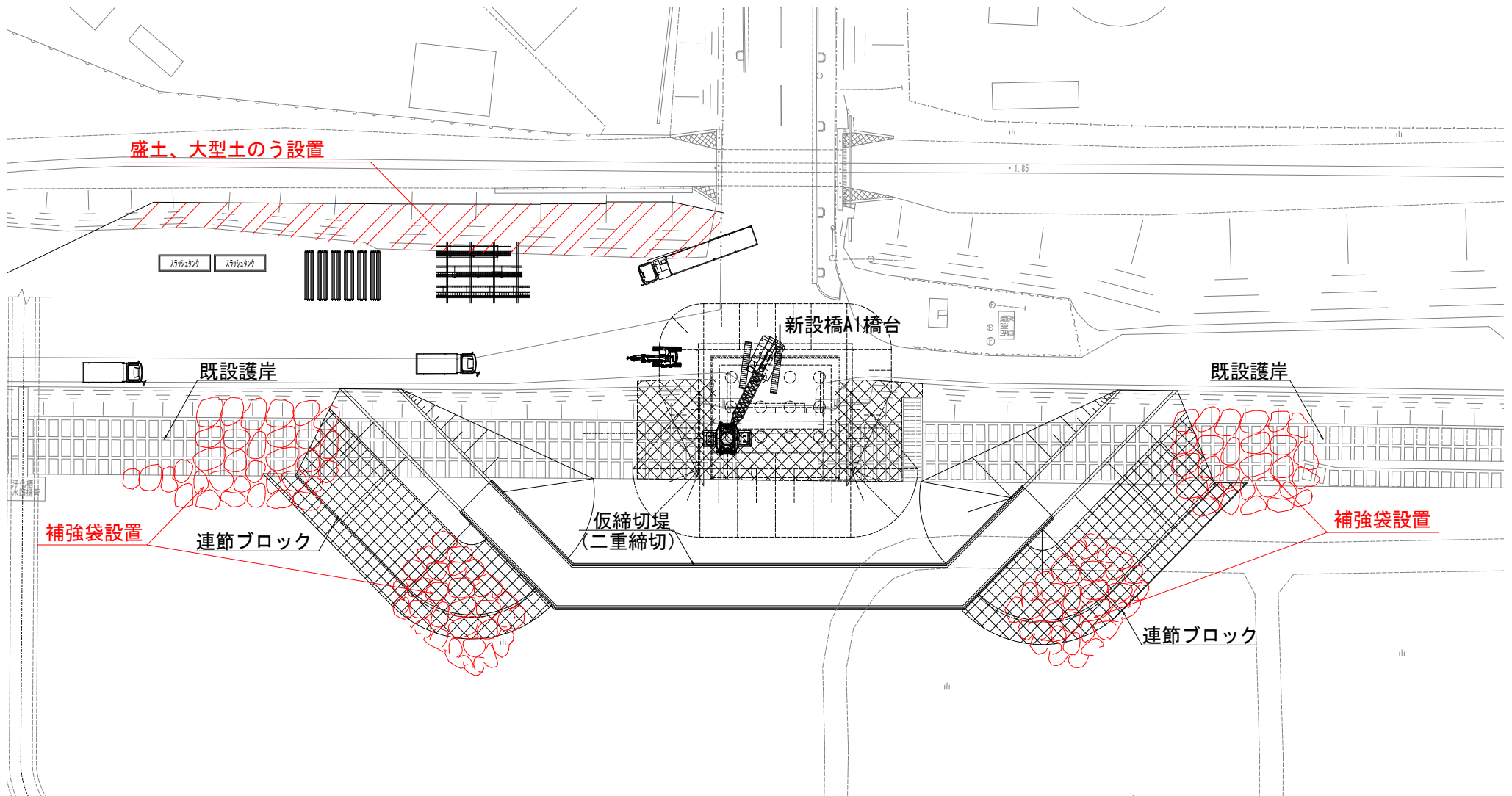
【新設橋(上部工)桁製作 断面図】



桁製作(破線囲み部を除く)

# 平面図

右岸側  
沼館地区



## 新大橋撤去工事（その6）請負の 一部変更契約の締結について

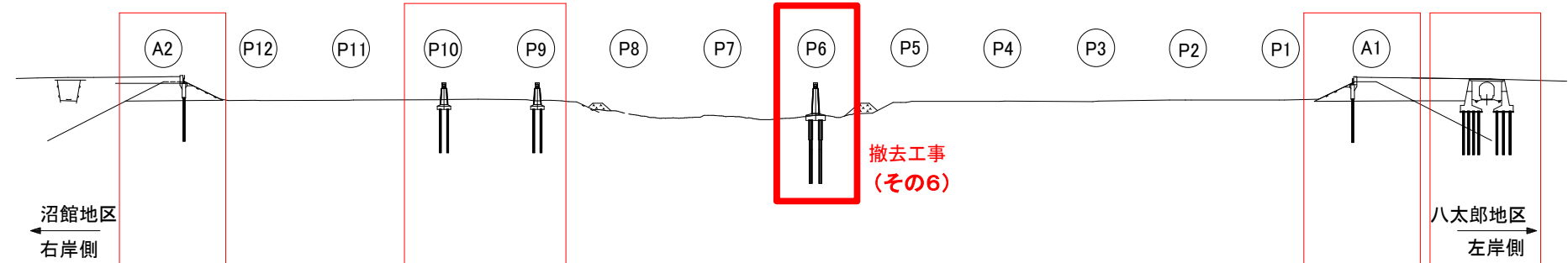
1. 工 事 名 新大橋撤去工事（その6）
2. 契 約 者 株式会社 石上建設
3. 契 約 額
- |     |                |           |
|-----|----------------|-----------|
| 変更前 | ¥276,472,900 円 |           |
| 変更後 | ¥325,160,000 円 |           |
| 増減額 | ¥48,687,100 円  | (17.6%増額) |

### 4. 主な変更理由

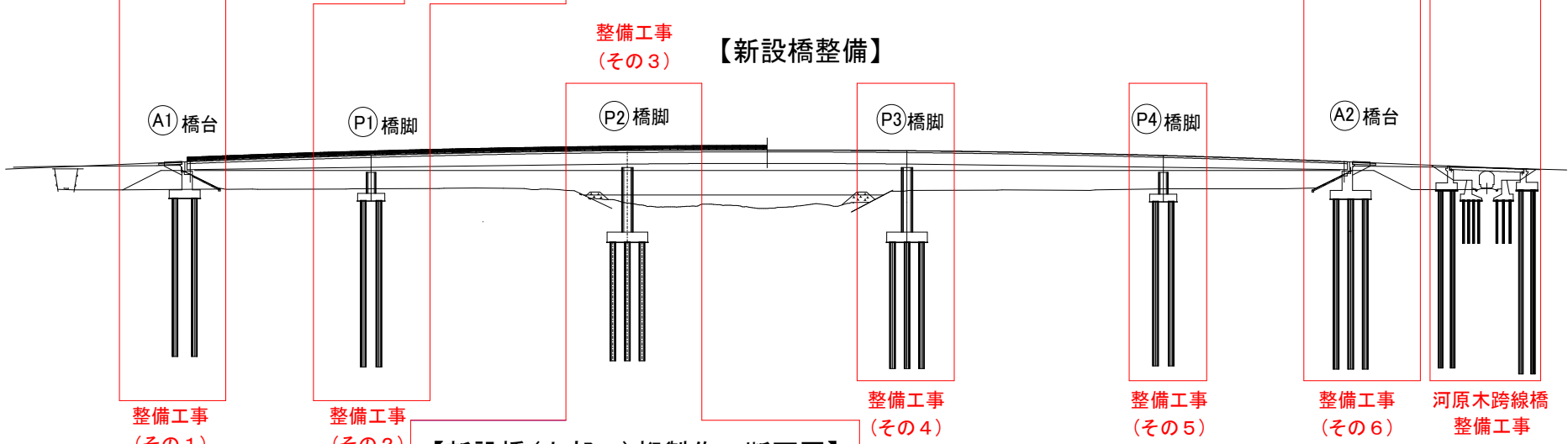
- ①既設P6橋脚の撤去にあたり、新設P3橋脚設置場所との重複を回避し施工性の向上及び作業ヤードを確保するため、作業用仮栈橋の位置を新設P3橋脚の上流側から下流側へ変更したことによる増額
- ②既設P6橋脚の撤去にあたり、基礎杭撤去の作業効率、作業員の安全性向上を図るため、ワイヤーソーイング切断ブロック撤去工法から全周回転掘削機水平切断工法へ変更したことによる増額

# 新大橋架替工事箇所 側面図

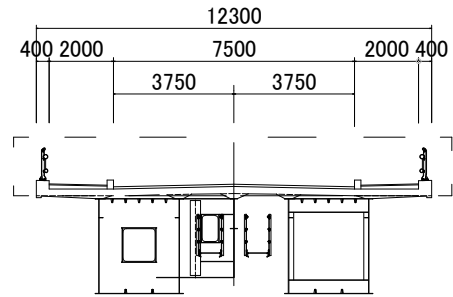
【既設橋撤去】



【新設橋整備】

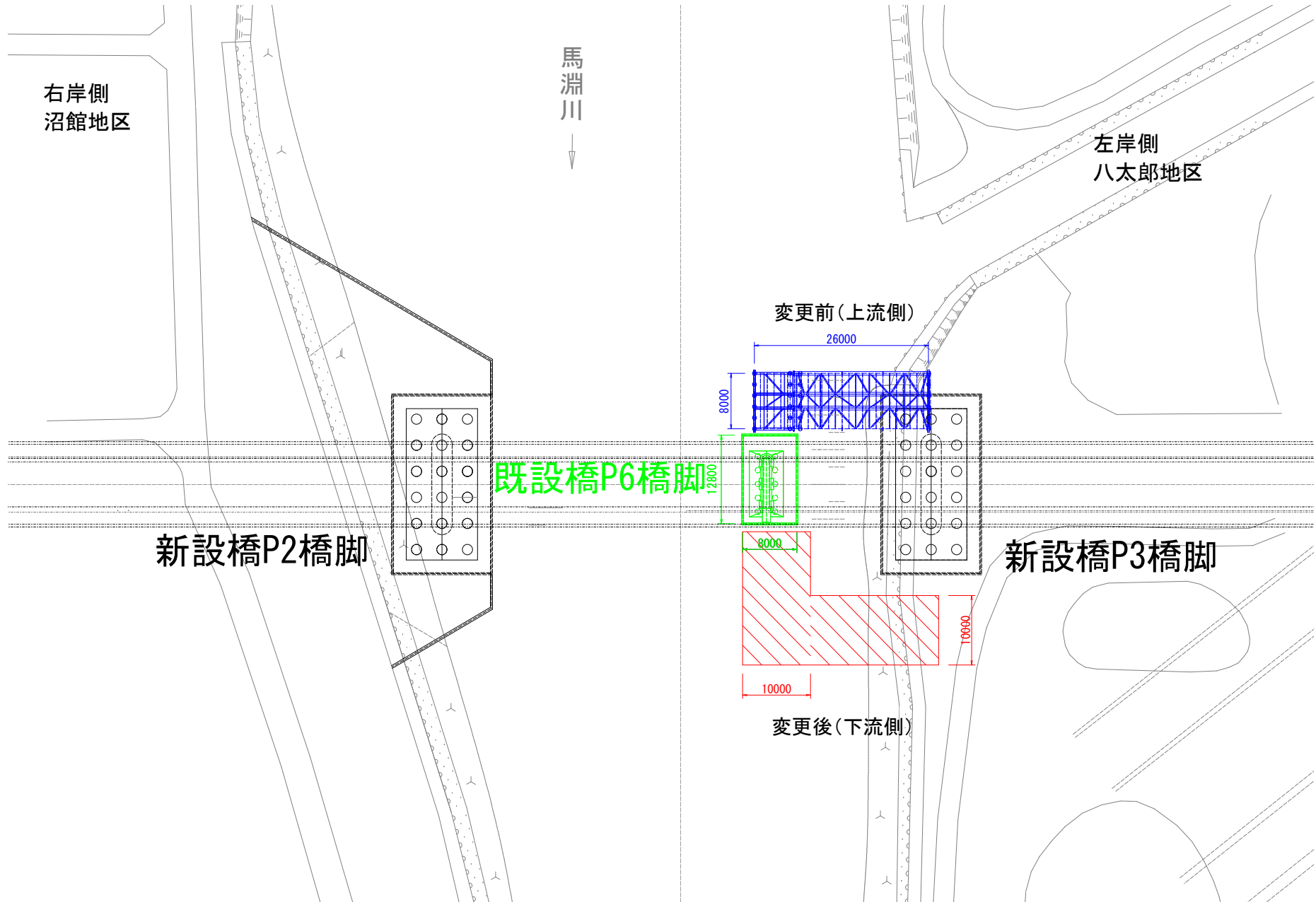


【新設橋(上部工)桁製作 断面図】



桁製作(破線囲み部を除く)

# 平面図



右岸側  
沼館地区

馬淵川  
↓

左岸側  
八太郎地区

変更前(上流側)

26000

8000

既設橋P6橋脚

12800

8000

新設橋P2橋脚

新設橋P3橋脚

10000

10000

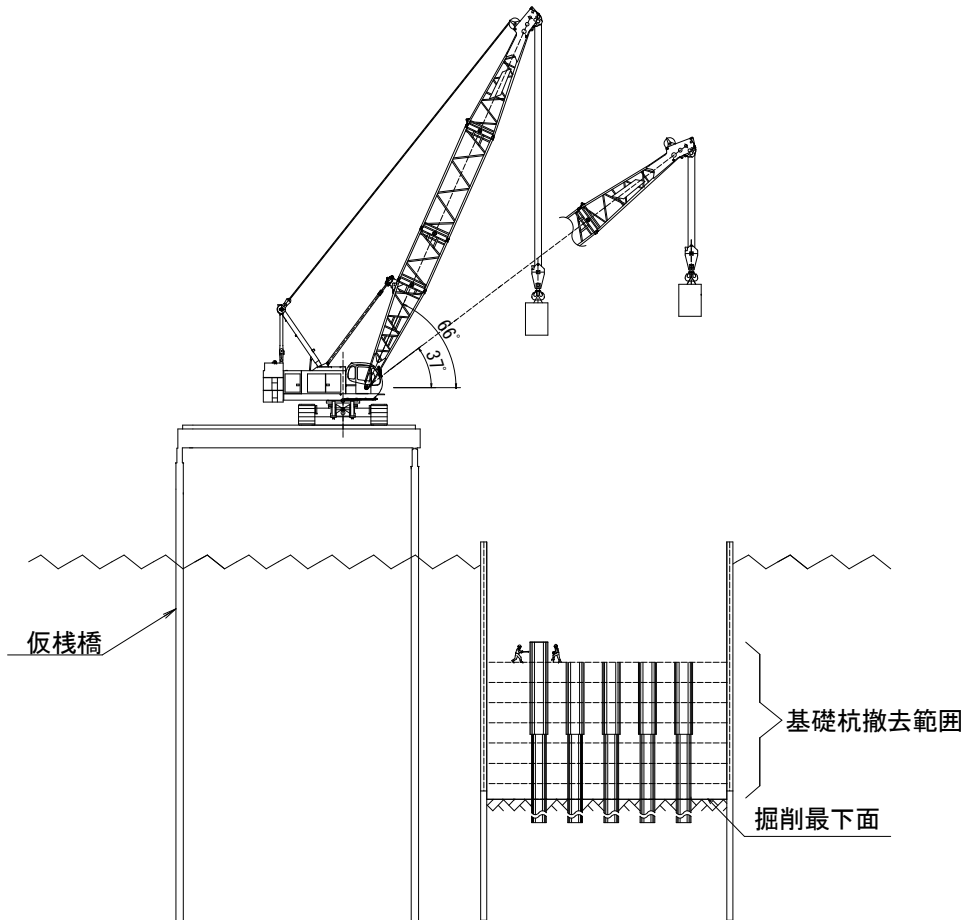
変更後(下流側)

# 既設橋P6橋脚基礎杭撤去工

## 既設橋P6橋脚基礎杭撤去

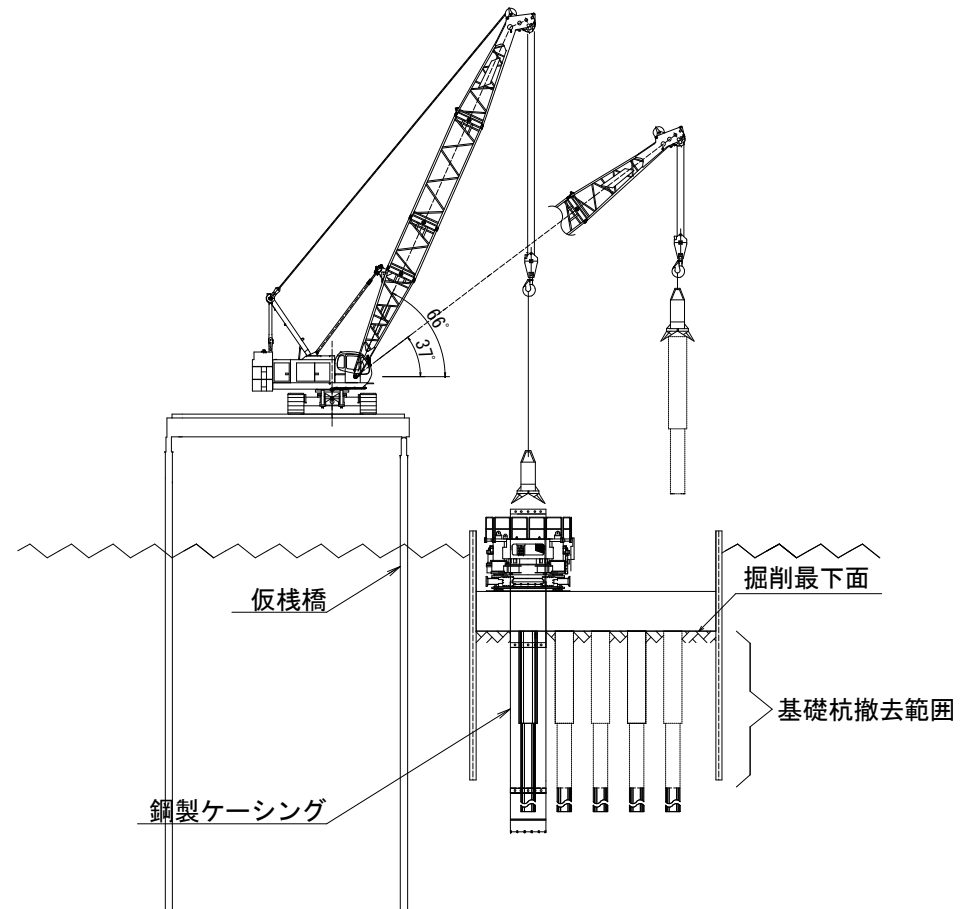
変更前

ワイヤーソーイング切断ブロック撤去工法



変更後

全周回転掘削機水平切断工法





## 新大橋整備工事（その3）請負の 一部変更契約の締結について

1. 工 事 名 新大橋整備工事（その3）
2. 契 約 者 J F E ・ 穂積特定建設工業共同企業体
3. 契 約 額 

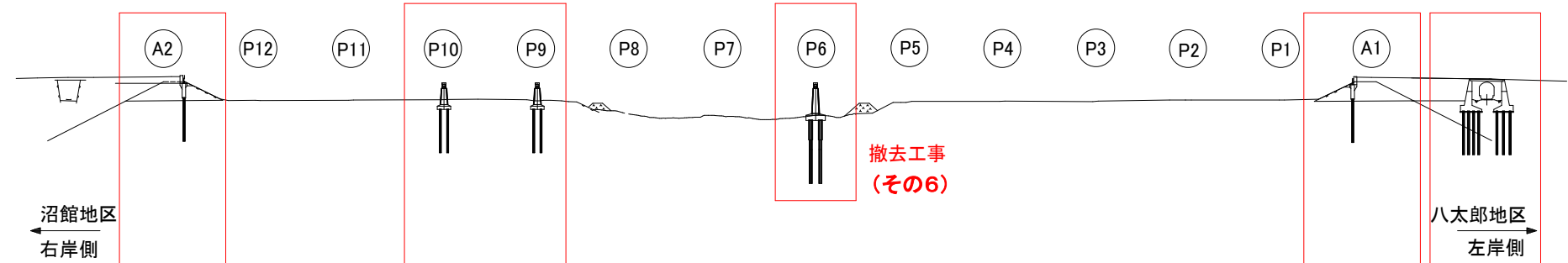
変更前	¥1,287,264,000 円	
変更後	¥1,782,649,000 円	
増減額	¥495,385,000 円	(38.5%増額)
4. 工 事 期 間 

変更前	令和2年9月2日から令和3年3月31日まで
変更後	令和2年9月2日から令和4年3月31日まで 365日間延長
5. 主な変更理由

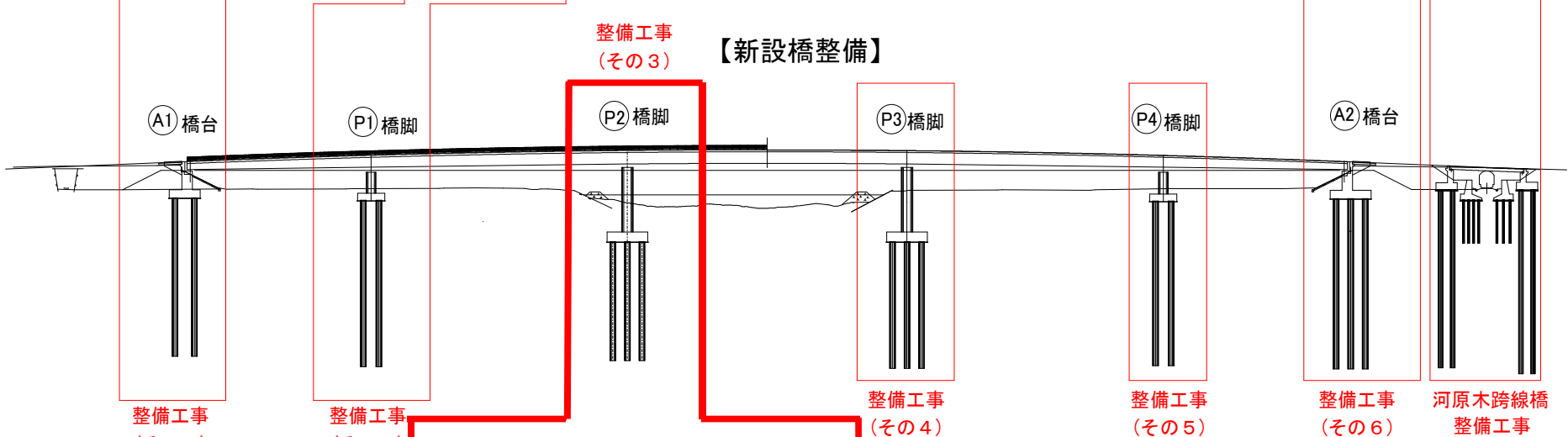
新設P2橋脚の設置にあたり、仮設ヤードの施工性と安全性の向上を図るため、出水期を避けて2回設置・撤去を行う大型土のう積工から、出水期を通して1回設置・撤去を行う鋼矢板締切工へ変更したことによる増額、及び支承製作の追加による増額、並びに工事期間の延長

# 新大橋架替工事箇所 側面図

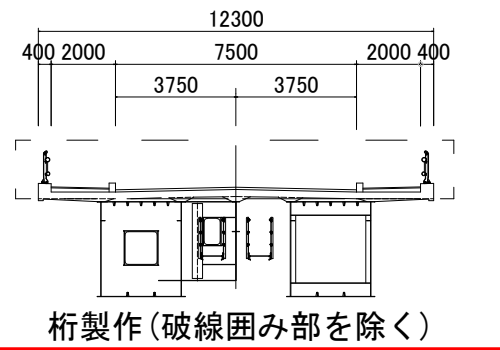
【既設橋撤去】



【新設橋整備】



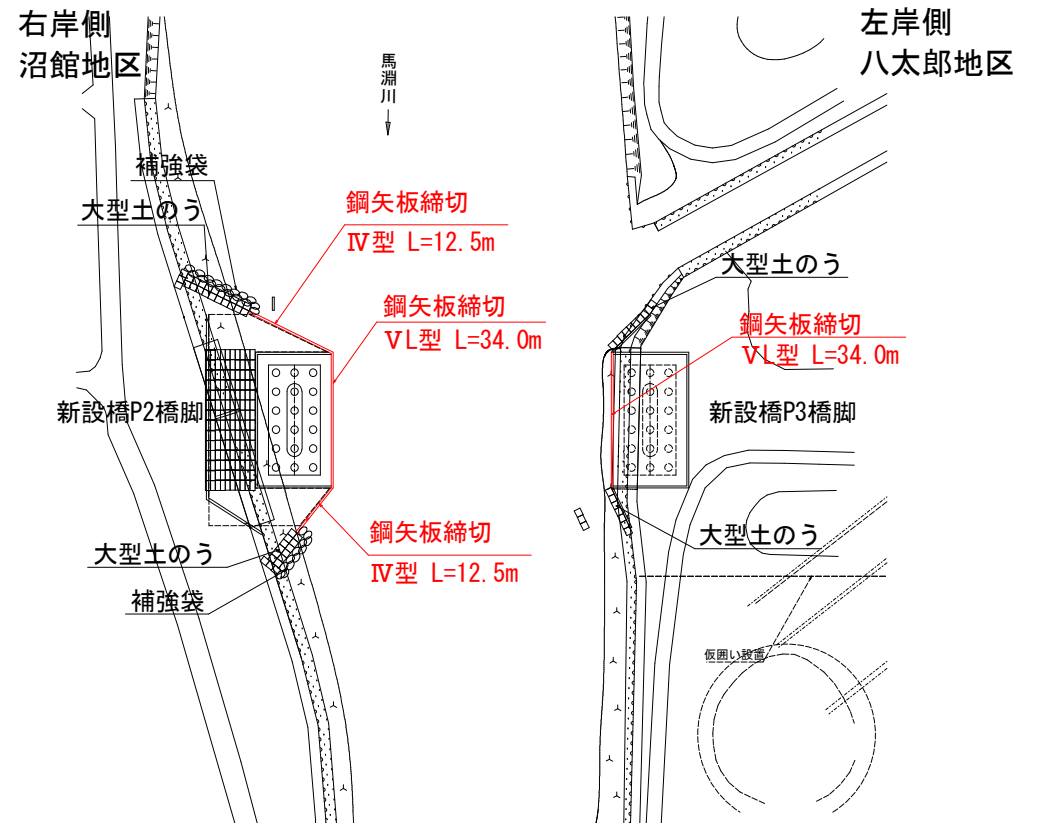
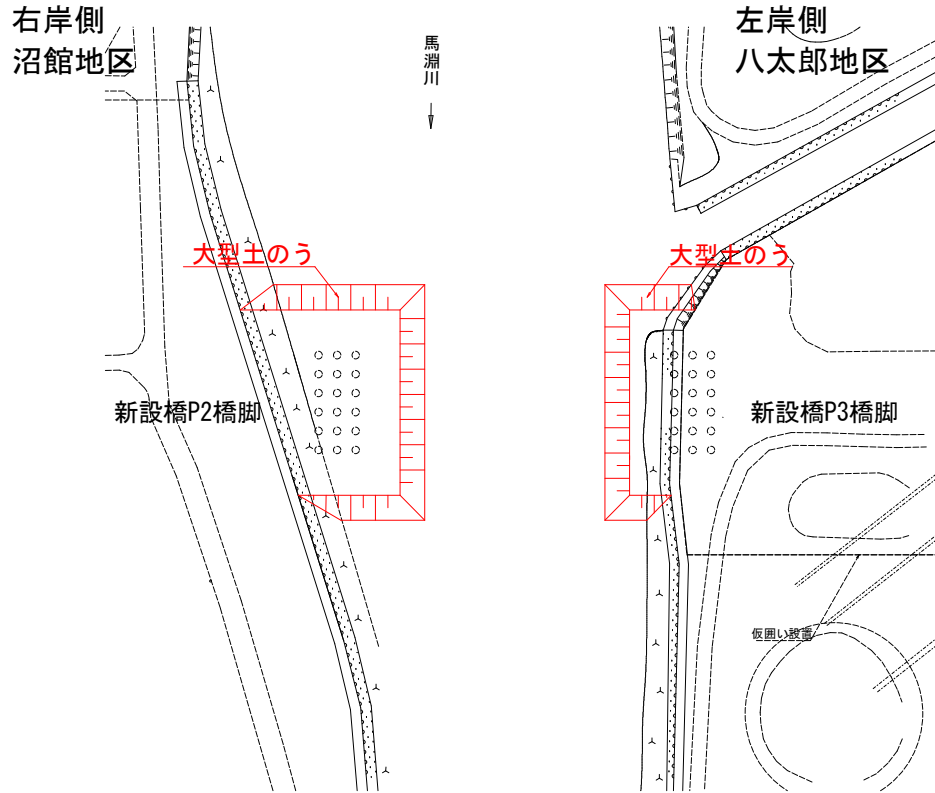
【新設橋(上部工)桁製作 断面図】



# 平面図

変更前

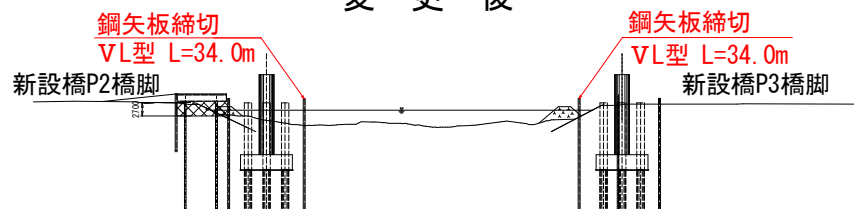
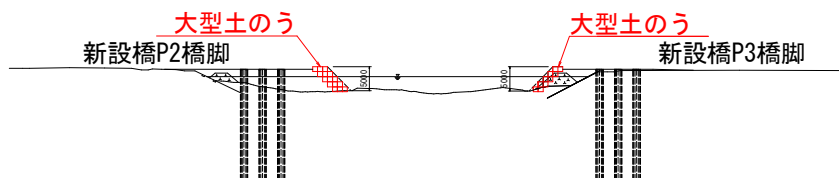
変更後



# 側面図

変更前

変更後



## 新大橋整備工事（その4）請負の 一部変更契約の締結について

1. 工 事 名 新大橋整備工事（その4）

2. 契 約 者 穂積建設工業株式会社

3. 契 約 額	変 更 前	¥515,900,000 円	
	変 更 後	¥650,947,000 円	
	増 減 額	¥135,047,000 円	(26.2%増額)

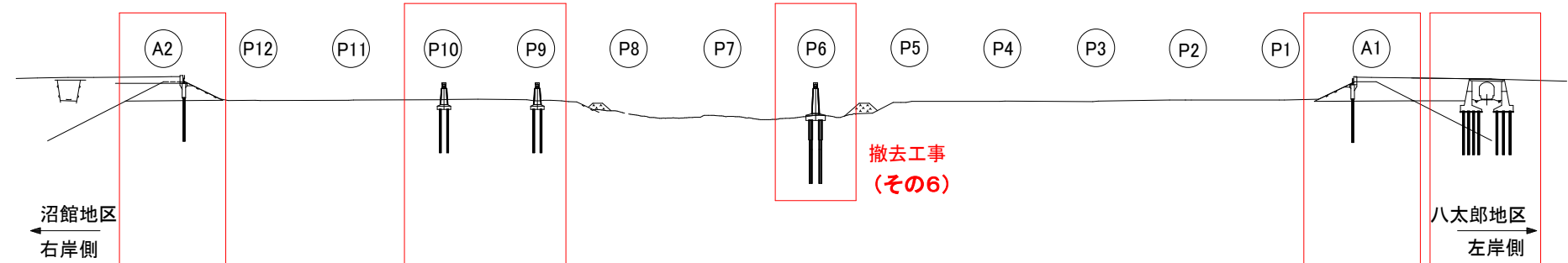
4. 工 事 期 間	変 更 前	令和2年9月2日から令和3年3月31日まで
	変 更 後	令和2年9月2日から令和4年3月31日まで 365日間延長

### 5. 主な変更理由

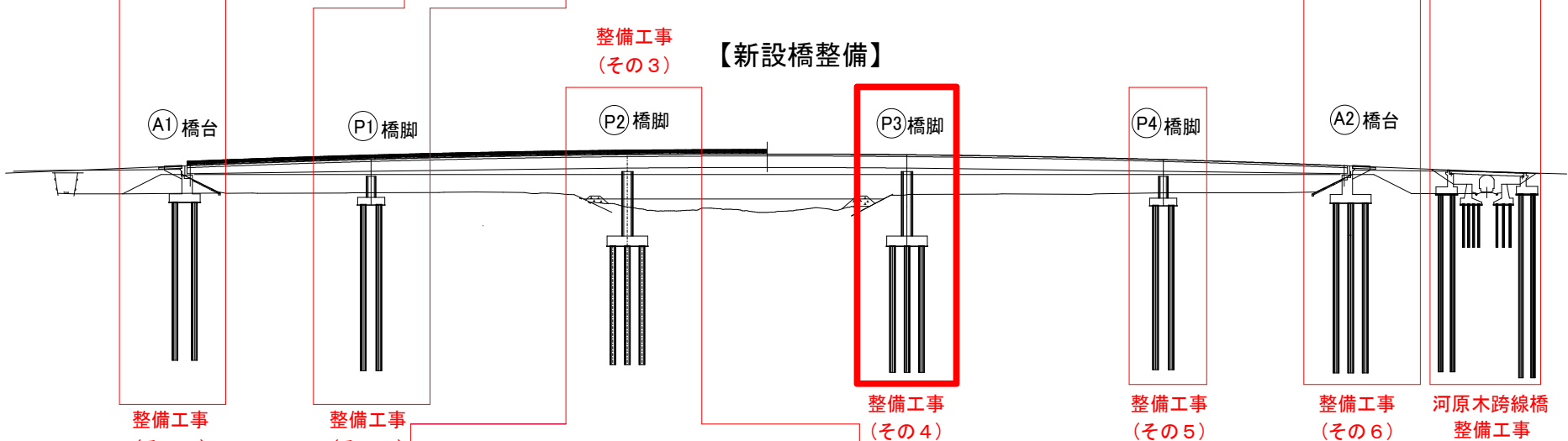
新設P3橋脚の設置にあたり、仮設ヤードの施工性と安全性の向上を図るため、出水期を避けて2回設置・撤去を行う大型土のう積工から、出水期を通して1回設置・撤去を行う鋼矢板締切工へ変更したことによる増額、並びに工事期間の延長

# 新大橋架替工事箇所 側面図

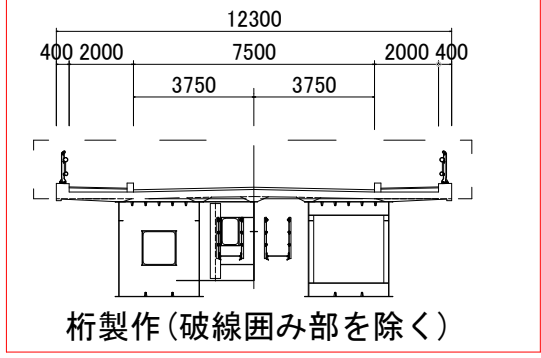
【既設橋撤去】



【新設橋整備】



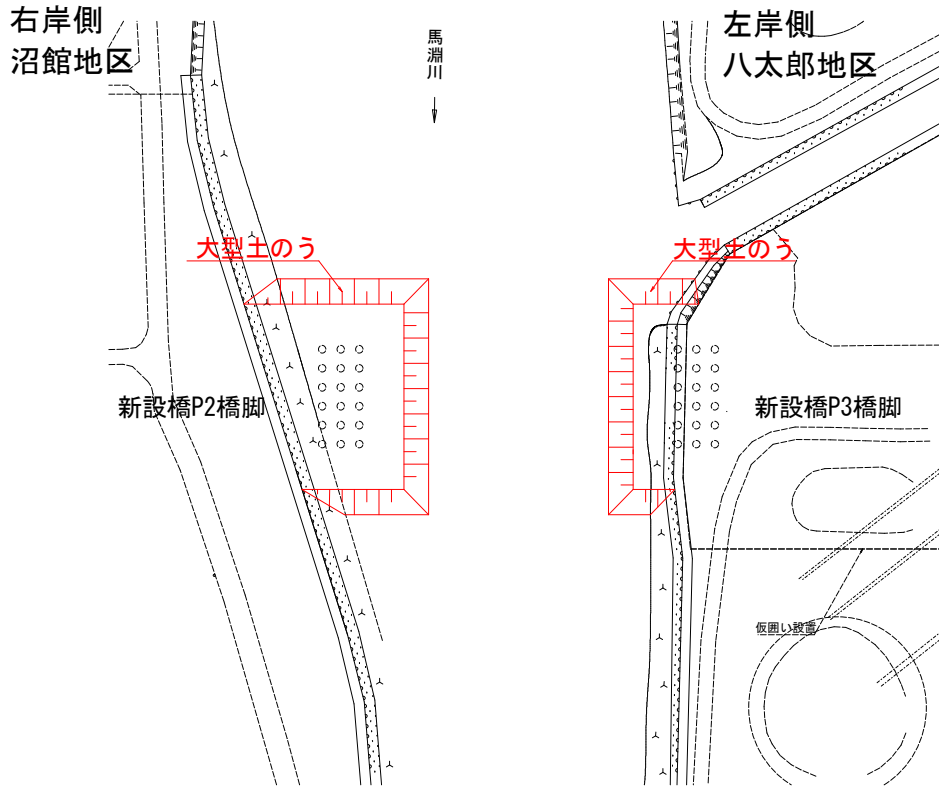
【新設橋(上部工)桁製作 断面図】



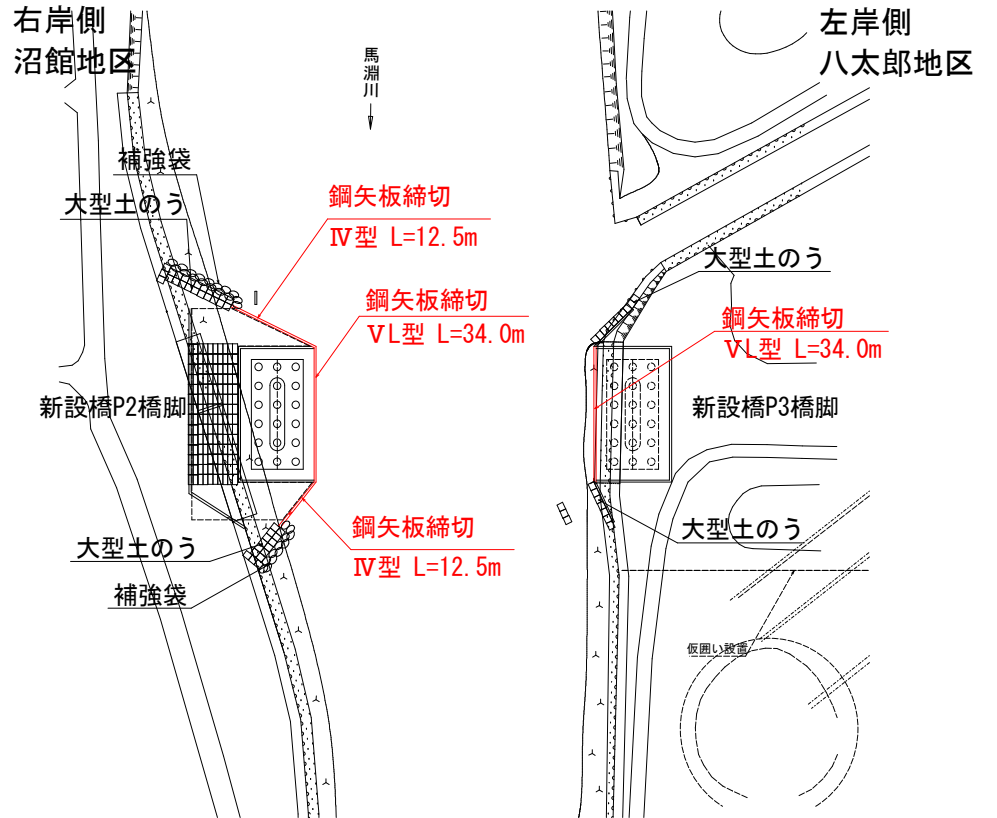
河原木跨線橋  
整備工事

# 平面図

変更前

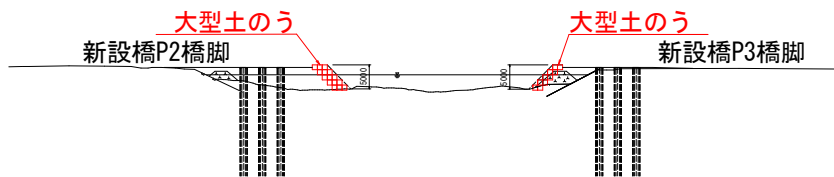


変更後

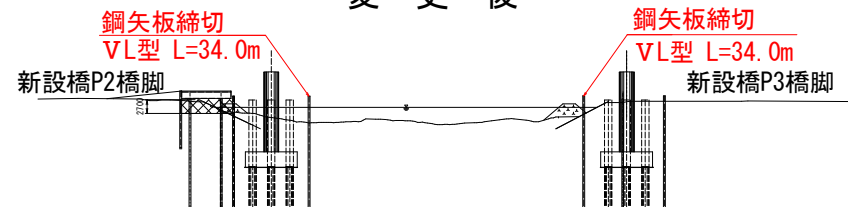


# 側面図

変更前



変更後



## 新大橋整備工事（その5）請負の 一部変更契約の締結について

1. 工 事 名 新大橋整備工事（その5）

2. 契 約 者 地代所建設株式会社

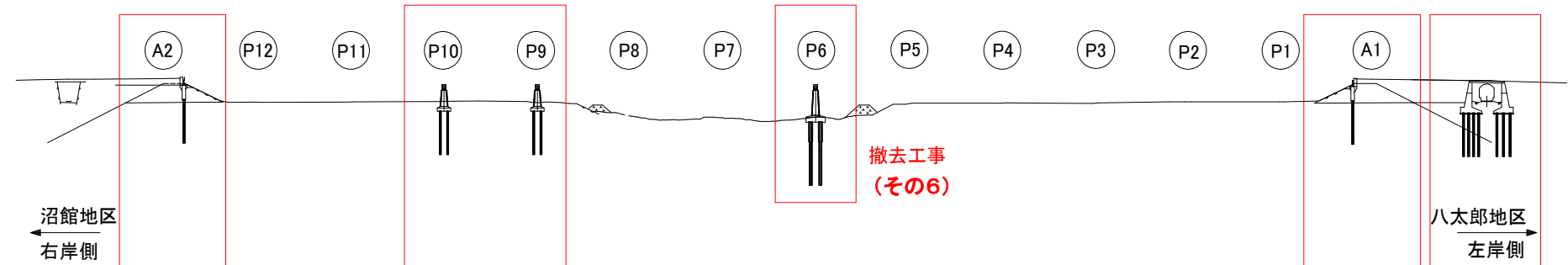
3. 工 事 期 間 変 更 前 令和2年9月2日から令和3年3月31日まで  
変 更 後 令和2年9月2日から令和3年8月31日まで  
153日間延長

4. 主な変更理由

新設P4橋脚の設置にあたり、高圧線との離隔を確保して安全に作業を進めるため、低空頭掘削機を使用するなど、感電防止に十分注意を払いながらの作業となったことによる工事期間の延長

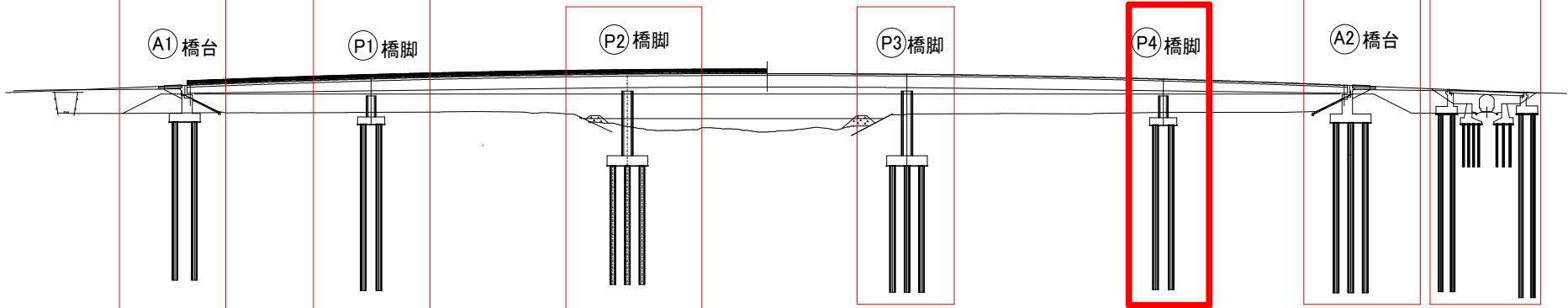
# 新大橋架替工事箇所 側面図

【既設橋撤去】



撤去工事  
(その6)

整備工事  
(その3) 【新設橋整備】



整備工事  
(その1)

整備工事  
(その2)

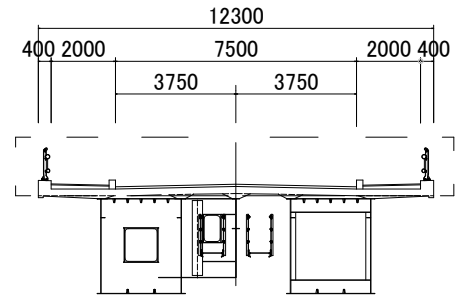
整備工事  
(その4)

整備工事  
(その5)

整備工事  
(その6)

河原木跨線橋  
整備工事

【新設橋(上部工)桁製作 断面図】



桁製作(破線囲み部を除く)



## 新大橋整備工事（その6）請負の 一部変更契約の締結について

1. 工 事 名 新大橋整備工事（その6）

2. 契 約 者 株式会社 田名部組

3. 契 約 額	変 更 前	¥511,500,000 円	
	変 更 後	¥552,629,000 円	
	増 減 額	¥41,129,000 円	(8.0%増額)

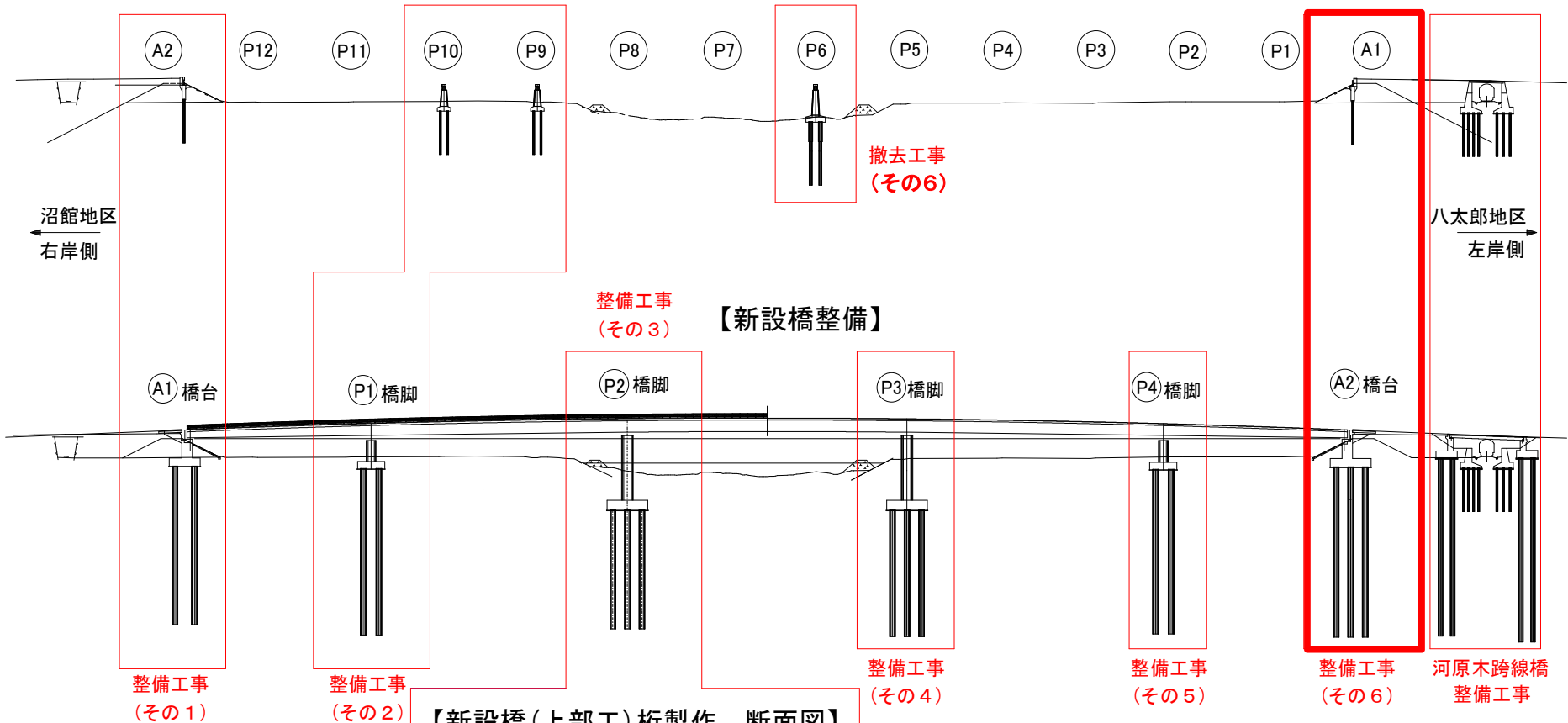
4. 工 事 期 間	変 更 前	令和2年9月2日から令和3年3月31日まで
	変 更 後	令和2年9月2日から令和4年3月31日まで 365日間延長

### 5. 主な変更理由

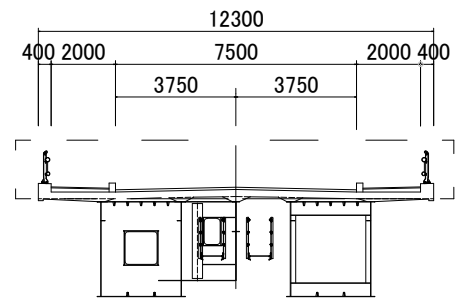
新設A2橋台の設置にあたり、高圧線との離隔を確保して安全に作業を進めるため、鋼矢板継ぎ施工となったことによる増額、並びに工事期間の延長

# 新大橋架替工事箇所 側面図

【既設橋撤去】



【新設橋(上部工)桁製作 断面図】

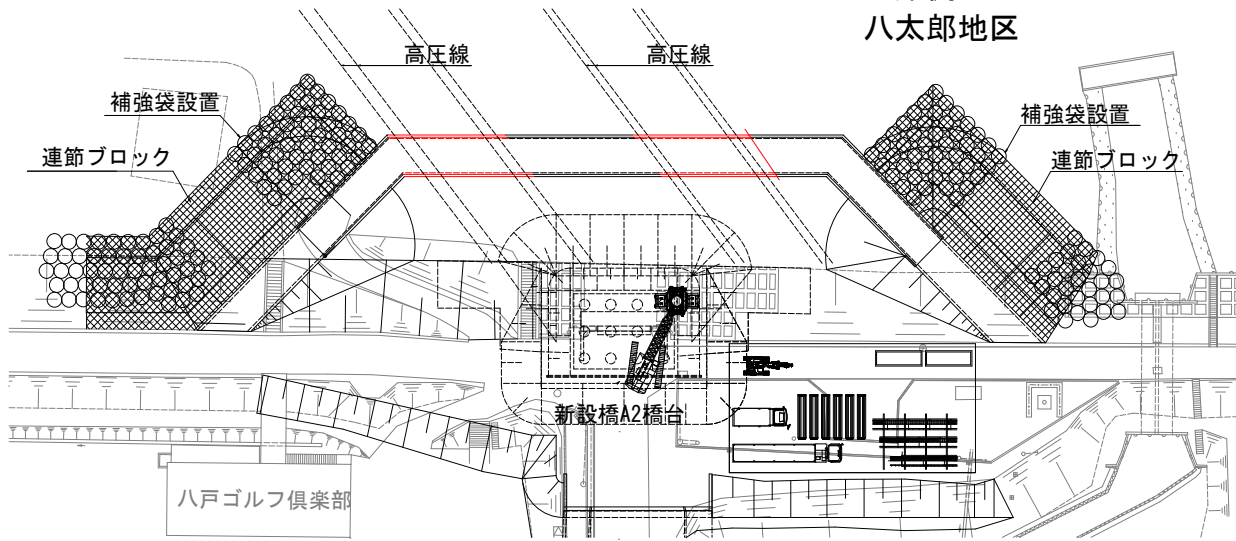


桁製作(破線囲み部を除く)

# 平面図

変更前

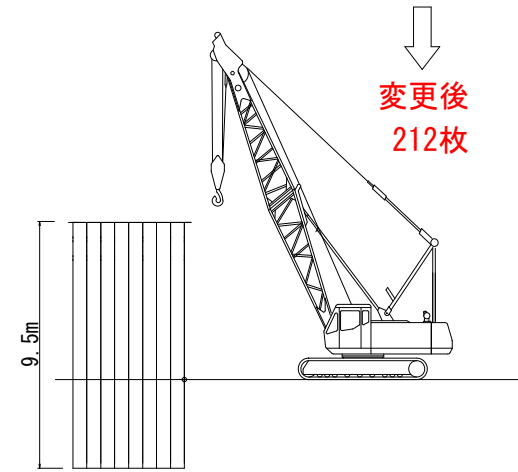
左岸側  
八太郎地区



鋼矢板(継ぎなし)  
高圧線なし

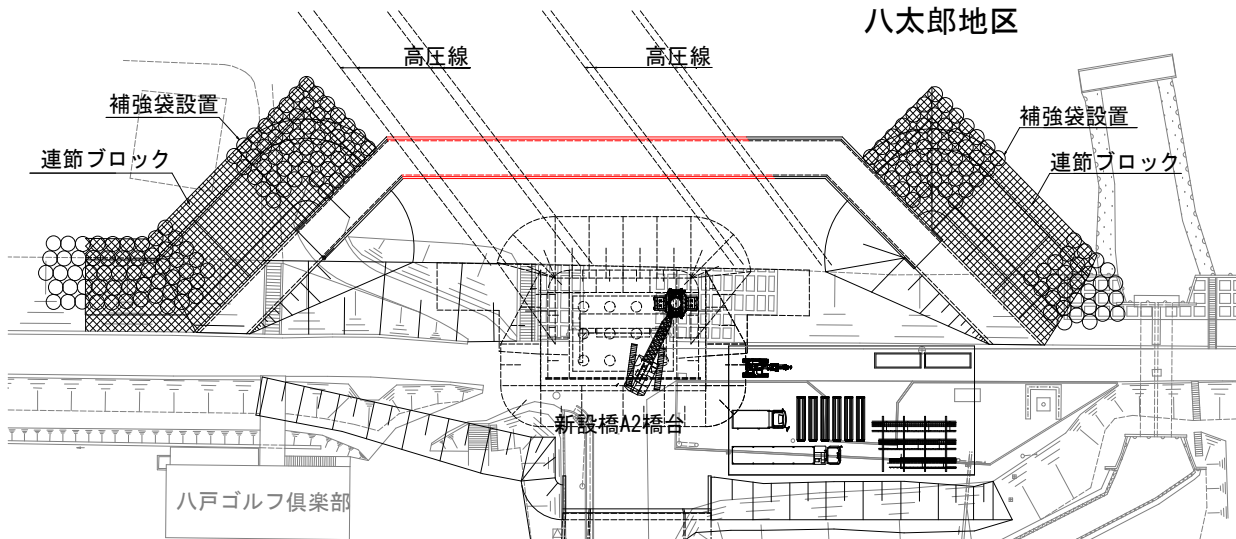
変更前  
328枚

変更後  
212枚



変更後

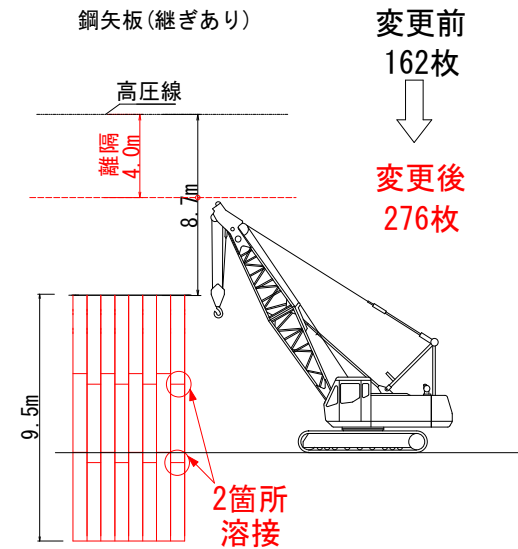
左岸側  
八太郎地区



鋼矢板(継ぎあり)

変更前  
162枚

変更後  
276枚



## 新大橋整備工事（その2）請負の一部変更 契約の締結をすることの専決処分について

1. 工 事 名 新大橋整備工事（その2）

2. 契 約 者 株式会社 高橋工務店

3. 専決処分の理由

・契約額に変更が生じたため、地方自治法第180条第1項に基づき専決処分したものである。

4. 契 約 額	変 更 前	¥189,800,600 円	
	変 更 後	¥195,613,000 円	
	増 減 額	¥5,812,400 円	(3.1%増額)

5. 主な変更理由

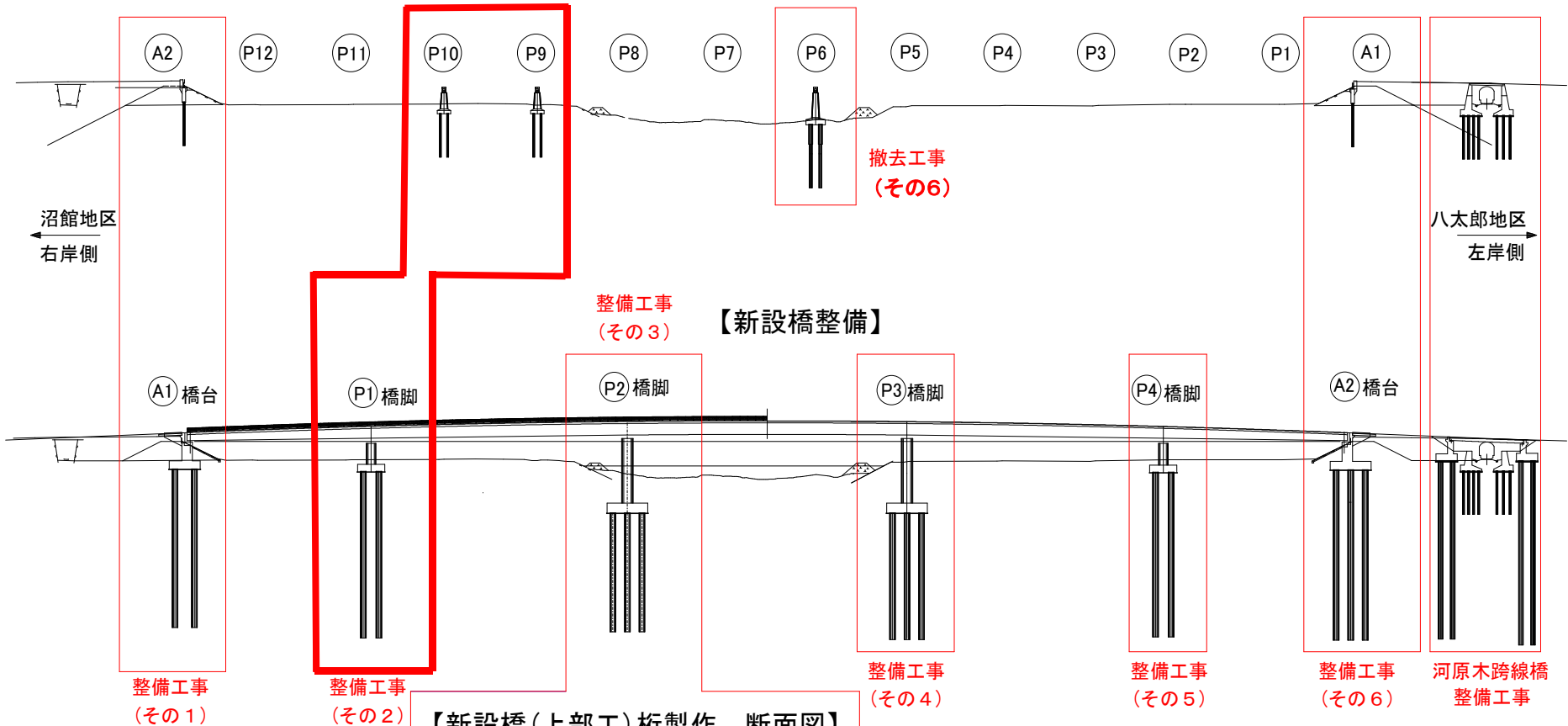
新設P1橋脚の設置にあたり、試掘調査で確認された残置状態のH形鋼を、撤去・処分したことによる増額

6. 専決処分年月日

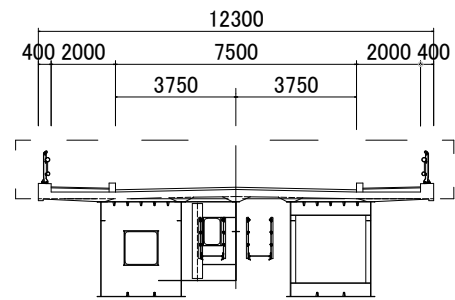
令和3年3月12日

# 新大橋架替工事箇所 側面図

【既設橋撤去】

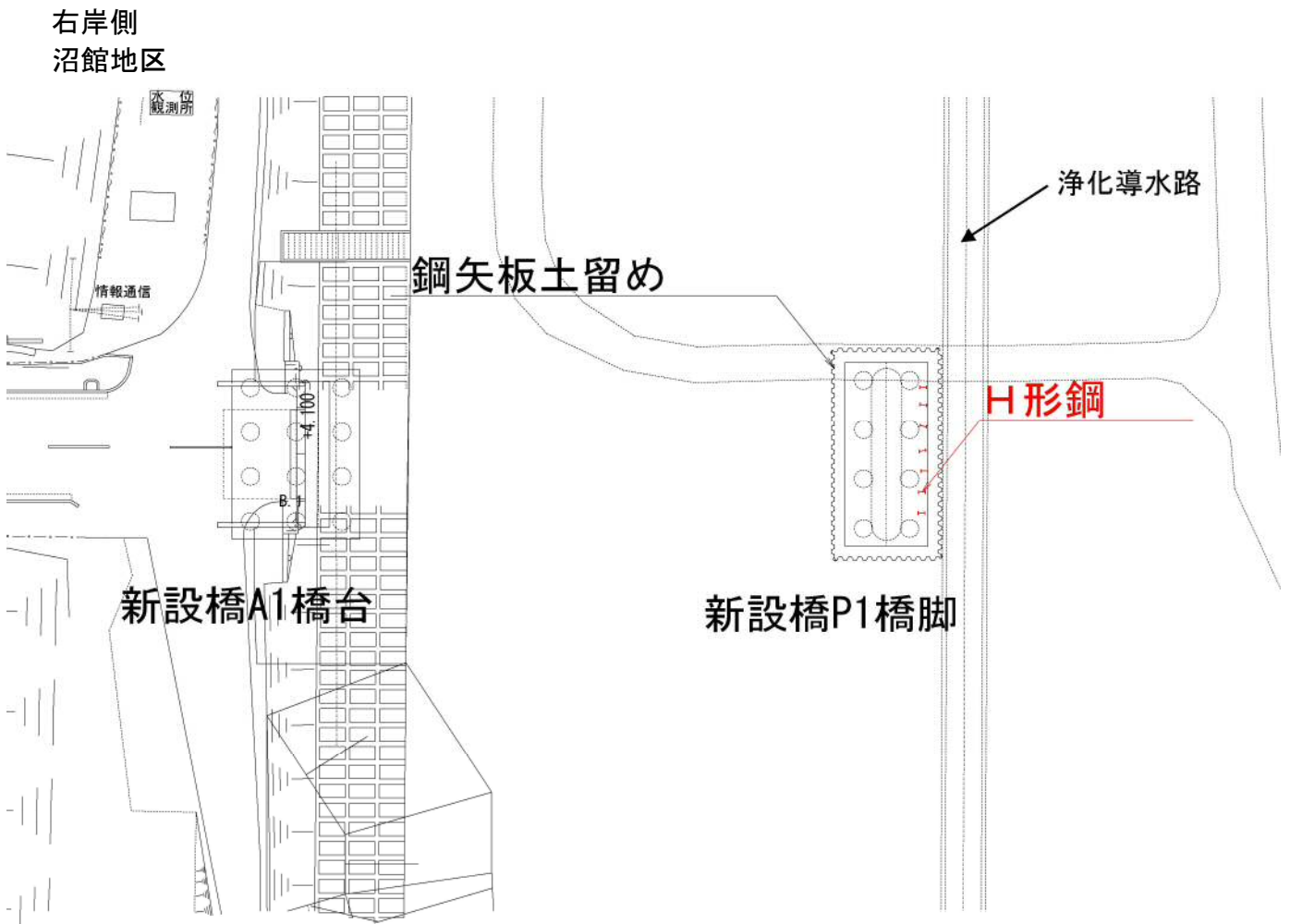


【新設橋(上部工)桁製作 断面図】

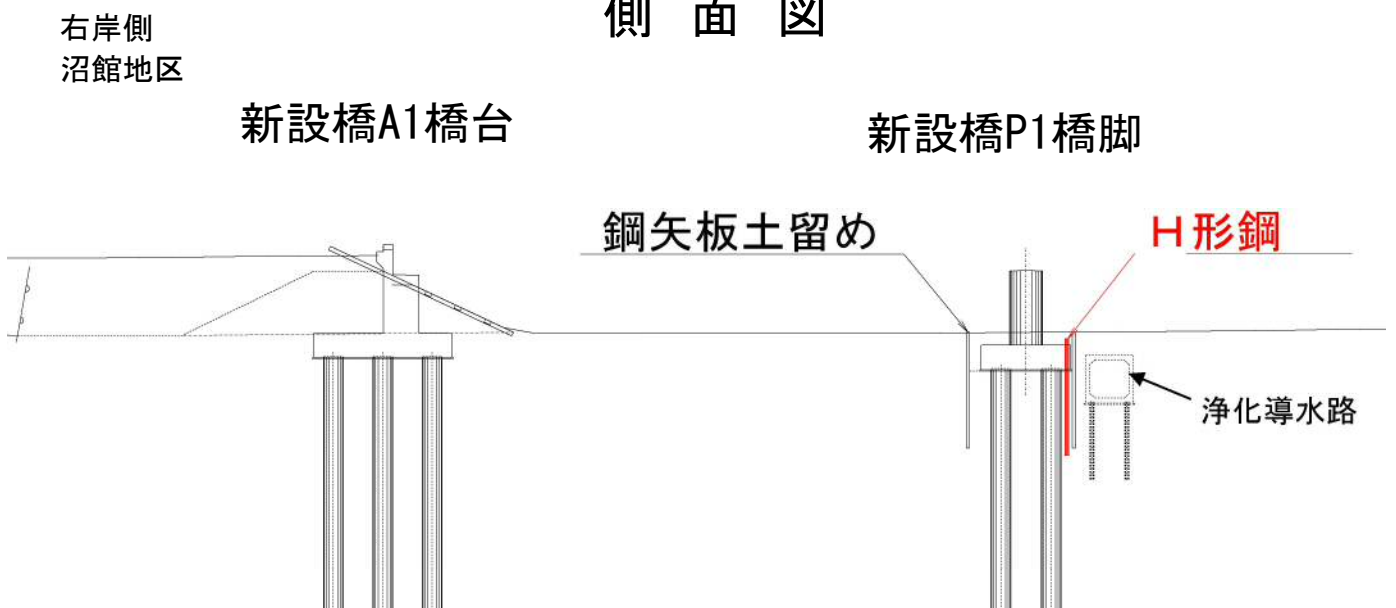


桁製作(破線囲み部を除く)

# 平面図



# 側面図



## 新大橋河原木跨線橋整備工事請負の一部変更 契約の締結をすることの専決処分について

1. 工 事 名 新大橋河原木跨線橋整備工事

2. 契 約 者 小幡建設工業株式会社

3. 専決処分の理由

・契約額に変更が生じたため、地方自治法第180条第1項に基づき専決処分したもの。

4. 契 約 額	変 更 前	¥630,949,000 円	
	変 更 後	¥634,425,000 円	
	増 減 額	¥3,476,000 円	(0.6%増額)

5. 主な変更理由

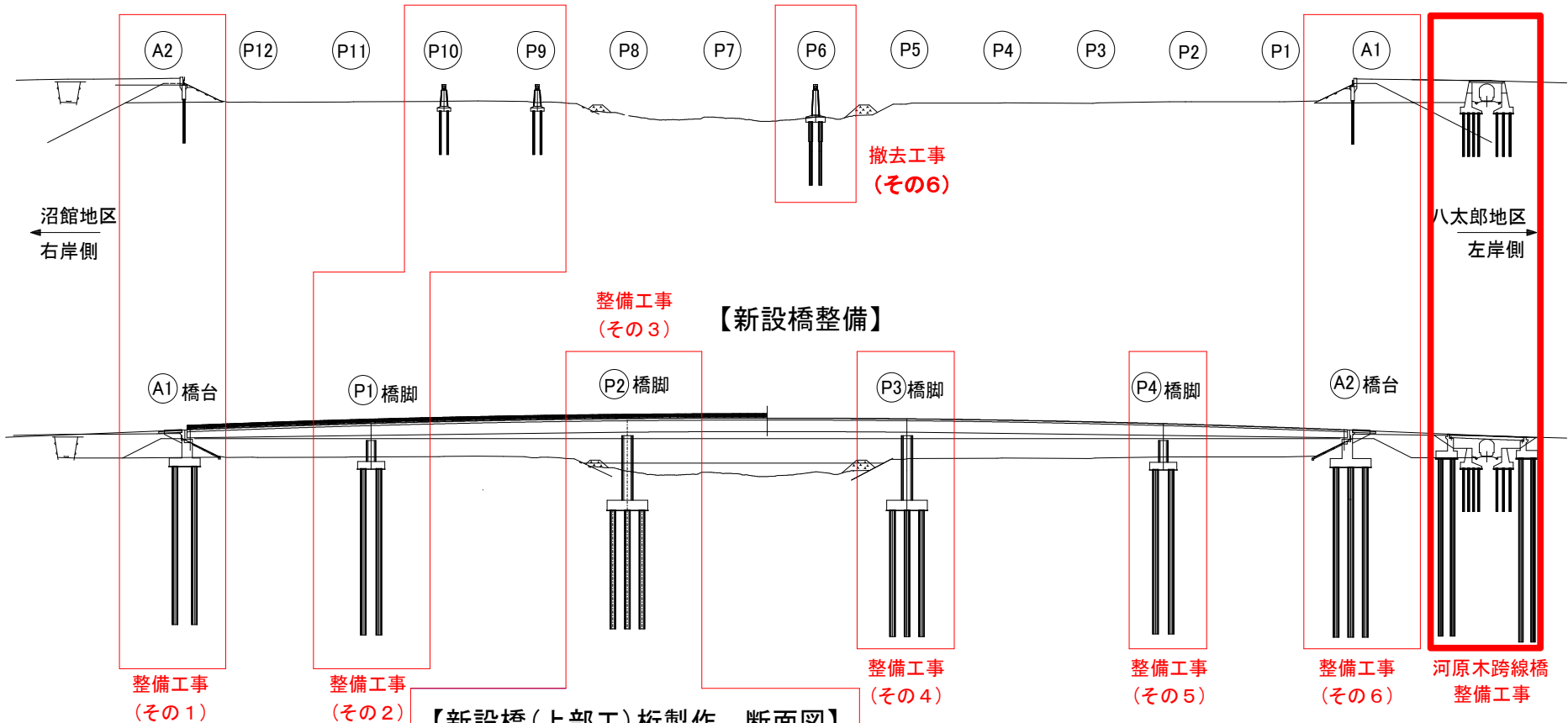
八戸臨海鉄道を跨ぐ新大橋河原木跨線橋の設置にあたり、作業ヤードを確保するため、既存の生活道路を付け替えしたことによる増額

6. 専決処分年月日

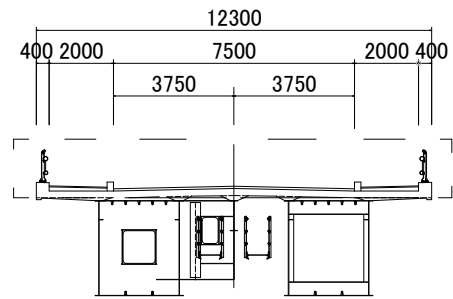
令和3年3月12日

# 新大橋架替工事箇所 側面図

【既設橋撤去】



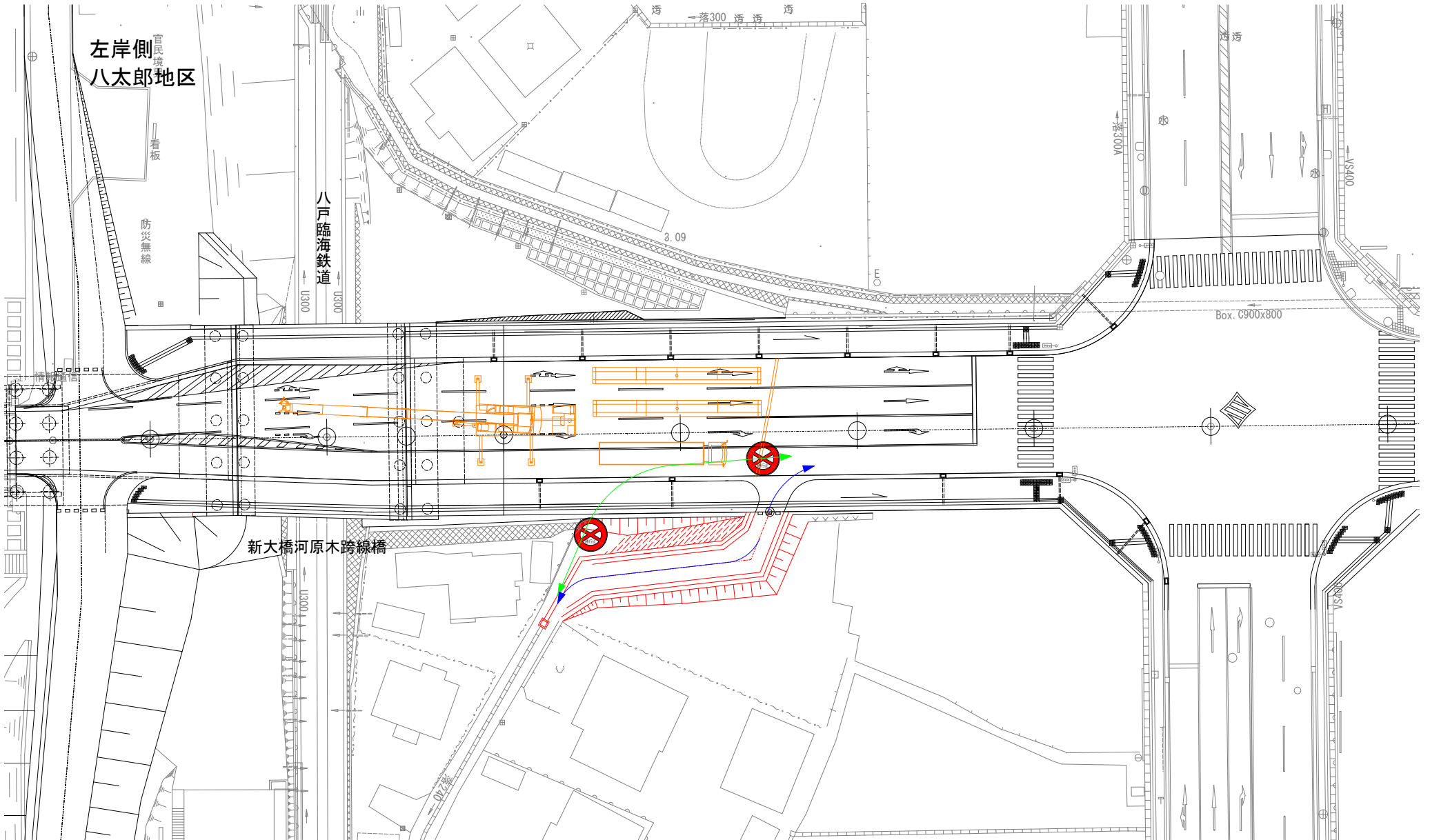
【新設橋(上部工)桁製作 断面図】



桁製作(破線囲み部を除く)



# 平面図



## 市街化調整区域における八戸市開発審査会提案基準の改正について

### 1. 目的

市街化調整区域の開発許可等は、都市計画法及び八戸市開発行為等の許可の基準に関する条例に基づくほか、八戸市開発審査会条例に基づき設置された八戸市開発審査会の審査により許可している。

全国的な社会情勢の傾向と同様に、八戸市の都市計画を取り巻く環境についても、人口減少、空き家の社会問題化など様々な要因により大きく変容してきている。

現在八戸市では、『コンパクト&ネットワークの都市構造』を掲げ、立地適正化計画を策定するなど、将来の人口減少社会を見据えたまちづくりへと転換してきており、市街化調整区域の開発許可基準について、現況の都市計画等に整合したものへ改正するものである。

### 2. 内容

八戸市開発審査会提案基準の改正内容としては、「市街化区域周辺で立地が相当進んでいる区域における自己用住宅」などの新たな開発を廃止するものの、空き家対策の一環として、一定期間適正に利用された既存住宅について、第三者の活用を図りながら、市街化調整区域の市街化を抑制する。

#### (廃止)

1. 市街化区域周辺で立地が相当進んでいる区域における自己用住宅（50戸連たん）
2. 幹線道路沿線の店舗等（近年実績なし）
3. 工場、事業所等の既存建築物の用途変更（実績なし）

#### (新設)

1. 住宅の属人性の変更（使用者変更時の許可基準を定めるもの）※
2. 未利用公有施設の用途変更（未利用公有施設売却時の許可基準を定めるもの）

※属人性とは、農林漁業者、分家、申請既存集落への10年居住などの申請者毎の属性であり、申請敷地の要件のみならず当該属性も加味し許可してきた。例えば、農家住宅で許可を受けた場合、今までは農家住宅としてのみ使用することができなかったが、条件を満たす場合、当初の許可を受けた属人性以外の第三者への売却を認める基準を新設するもの。

### 3. 適用開始日

廃止：令和3年3月31日                      新設：令和3年4月1日

ただし、廃止の「1. 市街化区域周辺で立地が相当進んでいる区域における自己用住宅」については、2年の経過措置期間を設け令和5年3月31日に全面廃止とする。

### 4. 周知

関連業界団体については、令和3年2月22日（月）に説明会実施済。

その他、ホームページや広報などで周知を行っていく。

# 50戸連たん事例図

【市街化区域周辺で立地が相当進んでいる区域における自己用住宅】(50戸連たん)

- 市街化区域に隣接し、又は近接し、市街化区域と一体的な日常生活圏を構成している市街化区域から300mの範囲内であっておおむね50以上の建築物が連たんしている地域において、自己用住宅を認めるもの

